

公務員試験 マップでわかる経済学マクロ編

(第1刷)

ページ	内 容																		
79	4行目 【誤】定額税 → 【正】民間投資																		
82	下から6行目 政府支出の変化以外は考慮する必要がないので、～ 【誤】 $\Delta C = \Delta I = 0$ とすると、 → 【正】 $\Delta C = \Delta I = 0$ とすると、																		
102	上のグラフにある緑色文字のm1 【誤】m1 → 【正】m																		
138	下の図 【誤】 <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td colspan="3">資産の全体量 (100)</td> </tr> <tr> <td colspan="2">貨幣供給 (70)</td> <td>貨幣供給 (30)</td> </tr> <tr> <td>貨幣需要 (40)</td> <td>→</td> <td>貨幣供給 (30)</td> </tr> </table> 【正】 <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td colspan="3">資産の全体量 (100)</td> </tr> <tr> <td colspan="2">貨幣供給 (70)</td> <td>債券供給 (30)</td> </tr> <tr> <td>貨幣需要 (40)</td> <td>→</td> <td>債券需要 (30)</td> </tr> </table>	資産の全体量 (100)			貨幣供給 (70)		貨幣供給 (30)	貨幣需要 (40)	→	貨幣供給 (30)	資産の全体量 (100)			貨幣供給 (70)		債券供給 (30)	貨幣需要 (40)	→	債券需要 (30)
資産の全体量 (100)																			
貨幣供給 (70)		貨幣供給 (30)																	
貨幣需要 (40)	→	貨幣供給 (30)																	
資産の全体量 (100)																			
貨幣供給 (70)		債券供給 (30)																	
貨幣需要 (40)	→	債券需要 (30)																	
169	下から4行目 【誤】 $\Delta G = 30 \rightarrow \Delta Y, \Delta r \rightarrow$ 【正】 $\Delta G = 30 \rightarrow \Delta Y, \Delta i$																		
177	下から1行目 【誤】投資関数が垂直になると (I1)、→ 【正】投資関数が垂直になると (ID)、																		
178	2行目 【誤】投資関数が水平になれば (I0)、→ 【正】投資関数が水平になれば (IC)、																		
179	2行目 【誤】水平になります (IS0)。→ 【正】水平になります (ISC)。																		
179	5行目 【誤】垂直となります (IS1) → 【正】垂直となります (ISD)																		
218	一番下のグラフ図の縦軸の表記 【誤】r → 【正】P																		
263	基本例題 31 グラフ図の表記 【誤】労働供給曲線 : $L^D = L^D(\frac{W}{P})$ → 【正】労働需要曲線 : $L^D = L^D(\frac{W}{P})$																		
311	7行目 【誤】C点 $BP = CA \uparrow + CF \downarrow = 0$ → 【正】C点 $BP = CA \uparrow + FA \downarrow = 0$																		